

## 博物館の基本的な性格

県民とともに成長する  
開かれた博物館

三重の自然と歴史・文化を総合的に捉える「総合博物館」

県民の視点で三重の貴重な  
資産を守り活用する博物館

次代を担う子どもたちを  
育む未来志向の博物館

県内の博物館ネットワーク  
の中核となる連携型博物館

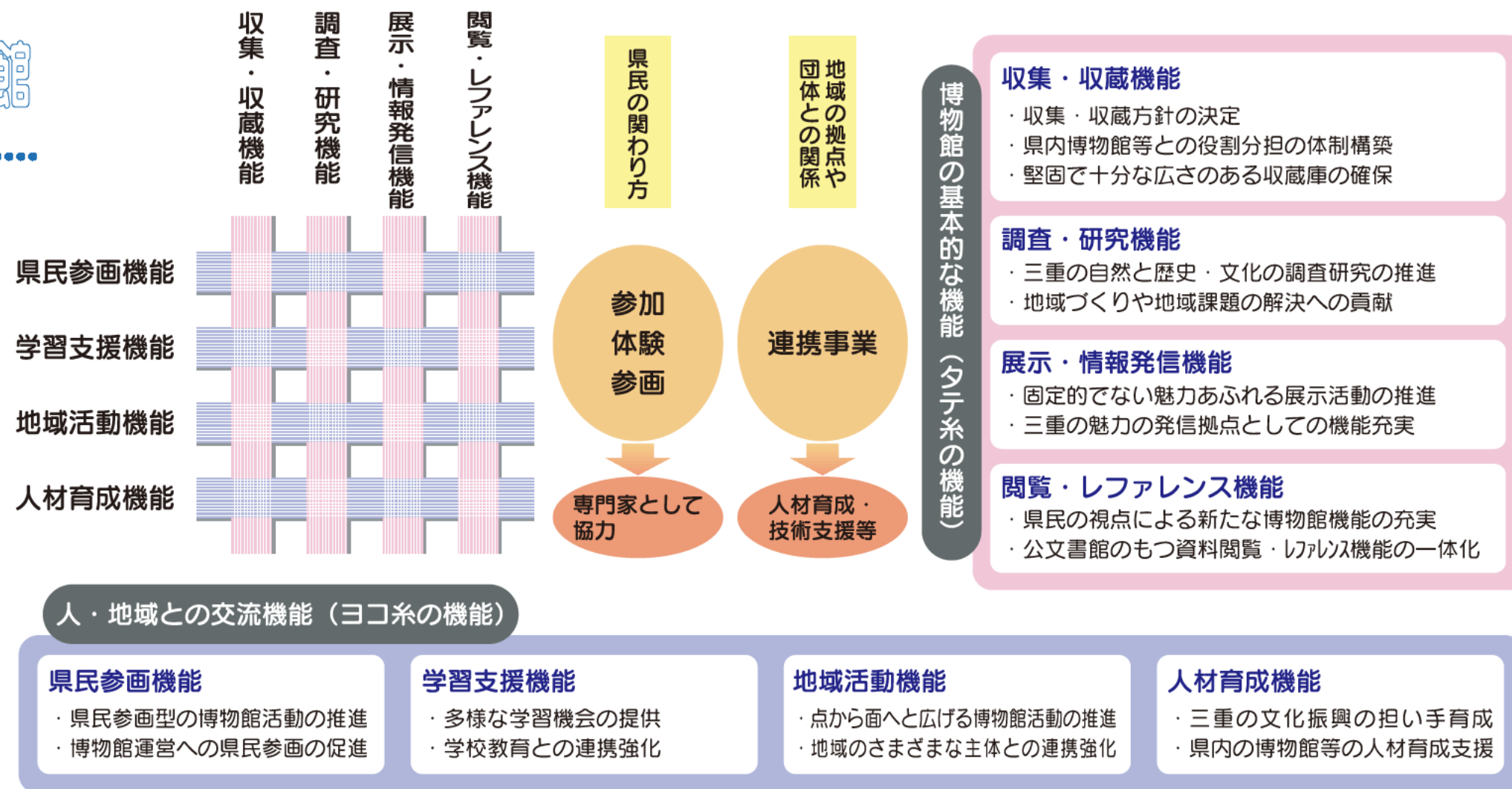


## 博物館の機能

### 旧来型の視点で機能する博物館 県民参画の視点で機能する博物館

タテ糸の機能とヨコ糸の機能を  
有機的に連動させた博物館機能

県民とともに成長する開かれた博物館を実現するためには、博物館活動全体にわたり、県民参画の視点を取り入れる必要があります。新博物館では、この考えのもと、博物館活動の基盤となる「基本的な機能（タテ糸の機能）」に対して、県民や地域の拠点・団体等が博物館活動に参画する「人・地域との交流機能（ヨコ糸の機能）」を有機的に連動させ、県民の視点で博物館活動の幅を広げていくことをめざします。



## 博物館整備の考え方

### 施設・敷地の規模

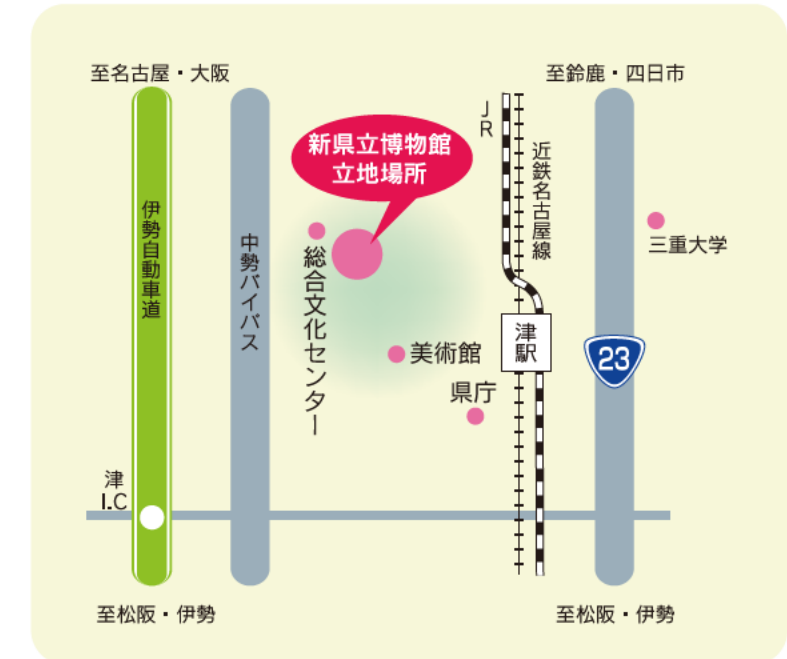
・建物面積 12,000～18,000㎡程度  
・敷地面積 3ha以上

### 立地場所

他の文化振興拠点や研究機関等との連携、アクセスの利便性、用地取得の可能性等を考慮しました。



県総合文化センターの南東側に隣接する「津市上浜町6丁目及び一身田上津部田内」



### 施設構成

・県民の活動・交流エリアや閲覧・レファレンスエリアの設置など、県民参画型の博物館の機能に必要な施設構成とします。

・環境保全やユニバーサルデザイン等に配慮した施設とします。

